

# 【ねがいましては】

平成14年11月27日

第151号

KYOWA SCHOOL

「信じること」

「ただいまー！」と少々疲れた声で教室にたどり着いた私。11月24日（日）、午前中、東京世田谷で珠算検定試験の試験官の仕事。そして休む間もなく同中央区へ・・・地区会議。夕方6時近くになり教室へ、今度は明日に迫っている地元中学校の期末試験前日準備の勉強指導。

この日のスケジュールは、かなりなハードスケジュール。本来なら明日に控えている期末テストの準備に、朝から向かいたいのは山々。ここに通う生徒たちの顔が、ちらちらと気になります。あの子のあそこ見てあげなければなー。あっそうだった、あの子も同じところが苦手だったっけ。

運悪く、珠算検定試験とぶつかってしまった日曜日。連盟の仕事を終わらせ、教室へ車を走らせる私は、そうあせった気持も感じることなく、割と冷静な自分がいることに気がつきます。きっとみんなそれぞれが、真剣に机に向かっているんだろうな。助け合って教え合っているんだろうな。その光景が目に浮かびます。

指導者のいない教室、しかも学年もばらばら。普通ならきっと、先生がいないので机に真剣に向かうなんて・・・と考えてしまうのが当たり前だろうと思います。ここに通うまじめさん達の固まり集団は、そんなことなど全く心に出すことなく机に向かいます。前日、『くりたのランチ講習』が終わり、帰り際に「明日、俺が帰ってくるまで教室を開放しようと思うんだけども、来る人いるかい。」と尋ねたところ、結構な数の子が手を上げます。「そうか、じゃ一小时前10時からということで・・・。」

私は同時に、来てくれるメンバーに、今日なかなか進めなかつた子への指導と、栗田ランチへ来られなかつた子への指導を頼みました。中学1年生の「T」ちゃんは、ちょっとばかり勉強に自信を失いかけています。戻ってみると、かなりなところまで進んでいます。指導は、献身度ナンバー1の「S」ちゃん。この子は、自分の事などそっちのけで『他人に尽くす子』です。お互いが生き生きとした目で向かっています。この日、授業が終わる頃、私は「T」ちゃんに尋ねます。「よかつたね、テストの結果がどんなでも、Sちゃんにだけは真っ先に見せてあげようって気持ちになつたろ。」「うんっ、Sちゃん見せるからね。」

私は、この子達の中に生まれた「こころ」こそ、勉強から培つた「真の勉強」だと思います。

この2人の間には、誰にも真似のできない強いものが生まれています。「T」ちゃんは翌日、今までに見たこともない真剣な目で机に向かっています。質問もどんどんしてくれます。「変わつたな。」私は一心でつぶやきます。

心があたたかくなると、歩けるんですよね。

きっとそのような温かい気持が、私に安心感をくれているのだと思います。

「信じること」・・・自然に私に宿っています。ありがとうございます。

## 12月の予定

12月2日（月） 珠算・暗算検定試験合格発表

冬休みの予定は、別紙にてお知らせします。

くりたのランチ冬期講習も同様です。 年賀状つくりデー！もお知らせします。